

リードワイヤー等の製造工程の効率化 海外実習生の積極的活用

同社は設立50年になる自動車関連、建機関連のハーネス製造業者。国内では姫路、出雲にそれぞれ生産拠点を有している。また他社に先駆けて海外展開を実施しており、現在では海外3拠点（フィリピン、ベトナム、インド）を有する企業。海外での現地取引量についても近年増加しており、海外での販路を確立。引き続き新たな進出国を検討しており、今後も先を見据えた積極的な海外展開が見込まれる。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 兵庫県姫路市亀山186-8 | ● 設立 | 1967年 |
| ● 電話/FAX | 079-234-1378/079-234-8786 | ● 資本金 | 3,510万円 |
| ● URL | http://ryonan.co.jp | ● 従業員数 | 180人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 児島 生也 | | |



自社一貫体制を確立し、事業の裾野を拡大

リードワイヤ組立に専念し、ハーネス加工から創業した。その後は関係部品の加工、組み立てまで事業を拡げることで他社と差別化。昨今では自動車関連部品のみならず、巻線加工を施し、産業機械分野や建設機械分野へも販売実績をあげるなど、業界内では相応の知名度を持つ。

製造工程においては積極的に機械化やロボット化を推進し、作業工程の省人化を推進することでもものづくり補助金にも採択された企業。製品の革新性は認められる。



主力製品のリードワイヤーAssy

海外展開への先見性と固定費の削減への取り組み

外国人技能実習生の招へい、機械化による省人化などにより、人件費を中心に収益体質を改善。毎期一定の利益を確保できるビジネスモデルを構築。他社に先駆けて海外展開を実施しており、製造コスト削減を通じた持続的な収益につながるビジネスモデルを現在では確立している。

フィリピン工場についてはレプコの名称で近年現地取引も拡大。国内需要のみならず、海外での需要についても取りこぼさずに対応することで業容を拡大している。



フィリピン工場外観

国内工場および海外工場のシナジーをあげる取り組み

1997年から海外研修生の受け入れ（現地法人より）を実施。具体的には延べ研修生136名技能実習生58名を受入れ。海外法人で育成した人材を国内工場スキルアップを図り、技能を習得した後は現地法人で中核人材として活躍してもらう等、国内工場と現地法人で相乗効果を発揮できる取組を行っている。

また積極的な海外人材育成を行っていることから、十分なダイバーシティへの取組がなされている。



技能実習生